

# 平成16年度事業計画

(自平成16年3月1日 至平成17年2月28日)

社団法人 溶接学会

平成16年度において、本会は溶接研究の拡充振興及び溶接教育の推進強化を目標として下記の事業を行う。

## 1. 全国大会

### 1.1 春季全国大会

平成16年4月21日～23日（財）日本教育会館

研究発表講演（94件）、シンポジウム「大学の法人化は産学官連携をどう変えるのか？」、フォーラム「薄板接合の最近の展開とその周辺」、若手会員のためのフォーラム「溶接に関する解析ソフトの紹介」

### 1.2 秋季全国大会

平成16年9月16日（木）～18日（土）広島大学（東広島）

研究発表講演、特別講演、溶接学会論文賞受賞講演

フォーラム「溶接・接合プロセスのビジュアル化」、若手会員のためのフォーラム、技術セッション、ワークショップ、カタログ展示・ビデオ上映

## 2. 講習会

### 2.1 平成16年度溶接工学夏季大学（第53回）「溶接工学の基礎と実際」

会期 平成16年7月1日～2日

会場 大阪科学技術センター（大阪市）

### 2.2 第41回工業高校教員のための溶接工学夏期講座

会期 平成16年8月

会場 関西地区

### 2.3 平成16年度溶接技術基礎講座（第32回）

会期 平成16年6月10日～11日

会場 溶接学会会議室

## 3. 刊行

### 3.1 溶接学会誌 自73巻2号（平成16年3月号）至74巻1号（平成17年1月号）8冊

### 3.2 溶接学会論文集 第22巻2号（平成16年5月）～第23巻1号（平成17年2月）4冊

### 3.3 全国大会講演概要集（第74集及び第75集）2冊

### 3.4 溶接学会技術資料を随時刊行する。

### 3.5 平成16年度溶接工学夏季大学教材「溶接工学の基礎と実際」

### 3.6 溶接用語集

### 3.7 Mate2005 11th Symposium on "Microjoining and Assembly Technology in Electronics"

### 3.8 溶接構造シンポジウム 2004

### 3.9 溶接法ガイドブック5「溶接法プロセスの高能率化」（英文版）

## 4. 第72回通常総会

開催期日 平成16年4月22日

開催場所 （財）日本教育会館

議題 1) 平成15年度事業報告承認の件

2) ✕ 収支決算報告承認の件

3) 監査報告

4) 平成16・17年度理事・監事選任の件

5) 平成16年度事業計画承認の件

6) ✕ 収支予算承認の件

7) 定款改訂の件

8) 名誉員推薦の件

9) 特別員推薦の件

10) 表彰

## 5. 評議員会

開催期日 平成16年4月21日

開催場所 （財）日本教育会館

議題 1) 平成15年度事業報告案の件

2) ✕ 収支決算案の件

3) 監査報告

4) 平成16・17年度理事・監事指名の件

5) 平成16年度事業計画承認の件

6) ✕ 収支予算承認の件

7) 定款改訂の件

## 6. 役員会

### 6.1 理事会

定例理事会を7回（3, 4, 5, 9, 12, 1, 2, 3各月）開催（6, 7, 8, 9, 10, 11各月は休会）及び必要あるとき開催

### 6.2 各業務担当理事会

必要あるとき随時開催

### 6.3 支部長会議及び支部幹事会

必要あるとき随時開催

## 7. 業務活動

### 7.1 企画委員会

学会の活性化に向けて、企画委員会を中心に、将来展望と活動目標を検討する「MeRIT-21ビジョン：21世紀における溶接研究・技術の将来展望と溶接学会ビジョンPart II」活動を実施し、学会構成員の評価向上、溶接（高度）技術者教育、支部との連携のあり方、賛助会員へのサービスのあり方、などアクションプランの効果を引き続き検討するとともに、会勢増強、活動資金獲得にむけた活動の推進を図る。

### 7.2 業務活動委員長会議

会務運営を円滑にして会員サービスを向上させるため、各委員会間の連携を密にして効率のよい活動の展開を図る。（今期は企画委員会が担当する。）

### 7.3 論文査読・審査委員会

投稿論文の査読並びに審査を行う。

STWJへの推薦論文を選考し、同誌への投稿を推進することで海外への本学会研究活動の情報発信を進める。

インターネット利用による論文査読・審査システムを促進す

る。

#### 7.4 全国大会運営委員会

全国大会の企画・運営について審議決定及び実施する。

講演概要集第74集及び第75集を発行する。

春季・秋季両大会において有識者による特別講演を実施する。

国立情報学研究所（NII）の電子図書館サービス（NACSIS-EIS）への参加に伴い、講演概要集の発行日より12ヶ月経過後同サービスにて引き続き公開する。

科学技術情報発信・流通総合システム（J-Stage）を利用した発表及び投稿申込を実施し、発行日より12ヶ月経過後同サービスにて引き続き公開する。

#### 7.5 編集委員会

溶接学会誌、溶接学会論文集の編集及び刊行を行う。

国立情報学研究所（NII）の電子図書館サービス（NACSIS-EIS）への参加に伴い、溶接学会誌は創刊号からを対象とし、発行日から12ヶ月経過後同サービスにて引き続き公開する。

論文集は創刊号からを対象とし、発行直後から同サービスにて引き続き公開する。

科学技術情報発信・流通総合システム（J-Stage）への参加に伴い、発行直後から同サービスにて引き続き公開する。

英文誌（Science and Technology of Welding and Joining=STWJ）の共同編集に引き続き参加する。

#### 7.6 國際交流委員会

必要ある時随時開催し、国際交流事業の企画立案及び実行態勢の整備を行う。

日米協定、日韓協定及び日越協定に基づく活動（合同シンポジウム等を含む）を推進し、シンガポール溶接学会（SWS）との学術交流協定について検討する。

IIW 2004年次（大阪）大会開催に協力する。

#### 7.7 科学研究費委員会

必要あるとき随時開催し、文部科学省科学研究費に係る問題の検討及び処理を行う。

#### 7.8 溶接用語委員会

(1) IIW 第 6 委員会と合同で適宜、委員会を開催し、IIW 第 VI 委員会の活動を支援する。

(2) 溶接用語集（和英対訳）を刊行する。

(3) JIS 溶接用語改訂に関し、日本溶接協会規格委員会に協力する。

#### 7.9 文献資料委員会

(1) IIW 情報委員会と協力し、必要に応じて委員会を開催する。

(2) IIW-International Documentation Center に対し、国内溶接関係文献アブストラクト交換が再開された場合には、送付する。

(3) 送付アブストラクト及び各 Center から受領したアブストラクトを活用し、会員サービスを目的とした企画を検討する。

(4) IIW 情報委員会の活動に協力する。

(5) 学会所有の図書、資料を整理して有効利用のための検討を行う。

(6) その他文献活動を通じて国内及び諸外国との交流を図る。

#### 7.10 溶接教育委員会

(1) 溶接に関する視聴覚教材の作製を行う。

(2) 教材の所在調査及びその利用について具体策を実施する。

(3) 講座・講習会を企画立案し実施する。

1) 平成16年度溶接工学夏季大学（前掲）

2) 平成16年度溶接技術基礎講座（前掲）

3) 第41回工高教員のための溶接工学夏期講座（前掲）

4) 溶接・接合技術セミナー（前掲）

5) 溶接技術実用講座（支部と共に）（前掲）

6) 新規企画講習会、セミナーなど

(4) IIW 第 XIV 等と連絡し、溶接教育に関する国際活動として、大阪大会で IIW XIV 委員会主催の「溶接要員の教育訓練、認証の進歩」国際会議を準備、支援する。

(5) 国際級（IIW）対応技術者向け教育システムのあり方検討ワーキング・グループ（IWEWG）が活動する。

(6) WES テキストの改訂を検討する。

(7) 日本技術者教育認定機構（JABEE）に協力する。

(8) 日本工学会の PDE 協議会及び CPD 委員会に協力する。

## 8. 若手会員の会

### 8.1 若手会員の会運営委員会

若手会員間のネットワークを強化および国際化するとともに、学会活動に対する積極的な参加を促進することを目的として、魅力ある各種イベント・事業を企画・実施する。また、学会員以外の方々にも参加していただけるような行事を企画し、より幅広く活動を展開する。

### 8.2 イベント

(1) 春季全国大会フォーラム（共催：（財）溶接接合工学振興会）

例年どおり全国大会の講演と重複する時間を避け、夕刻からの開催とする「イブニングフォーラム」の形式を踏襲する。

主題：溶接に関する解析ソフトの紹介

日時：平成16年4月22日（木）17：30～19：30

場所：（財）日本教育会館（春季全国大会開催会場）

なお、秋季全国大会時にもイブニングフォーラムの開催を予定しているが、内容や形式については現在のところ未定である。

(2) 基礎セミナー

第6回「これから溶接・接合を学ぶ人たちのための溶接法基礎講座」

今年度より支部制を施行したことをうけて、恒例の上記「基礎講座」を、前回のように参加者の方々のニーズをとらえたテーマを設定するとともに、地方（東京・大阪近郊以外の場所）で開催する方向で調整中である。実施時期、場所等は現在検討中である。

(3) セミナー、勉強会、見学会等を開催し、若手会員の活動を支援する。

(4) 若手会員間における学会へのニーズ、期待を把握し、溶接学会のあるべき姿の提言を行う。

### 8.3 情報交換および広報

(1) 溶接学会誌「若手会員の会 自由編集のページ」に連載記事、活動報告等を掲載する。

(2) ホームページに活動報告、研究室・研究所紹介等の情報を掲載する。また、研究室・研究所紹介については、ホームページ上からキーワードで検索できるシステムを構築する。

(3) メーリングリスト（E-mail）による情報交換を促進する。

## 9. 研究活動

### 9.1 研究推進部会

- (1) 随時開催し、各研究委員会の活動情況の把握及び調整並びに特別研究会、アドホック研究会及びミニ研究会等の設置についての起案・規模策定及び理事会への答申等を行う。
- (2) 特別研究会「摩擦搅拌溶接の高度化」が活動する。
- (3) ミニ研究会が4件活動する。
  - ①「自動車車体・部品の工作精度に関わる諸問題の抽出・整理と将来への展開を目指す」
  - ②「薄板の高速溶接プロセス」
  - ③「最適溶接条件決定手法の確立に向けて／高温割れ発生予測」
  - ④「摩擦搅拌接合に普遍性を与える本質的な接合因子の選定」
- (4) 春季全国大会においてフォーラム（軽構造接合加工研究委員会）を開催する。（前掲）
- (6) 秋季全国大会においてフォーラム（溶接法研究委員会）を開催する。（前掲）

### 9.2 溶接構造研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 会期 1回の会期は原則として1日又は2日とする。
- (3) 開催期、開催地及び内容

会合名	開催期	開催地	内 容
第163回	3月	東京	研究報告5～6件（日本造船学会 構造・材料研究委員会 材料・溶接部会との合同委員会）
第164回	7月	兵庫	FGIセミナーとして、溶接冶金研究委員会と合同開催
第165回	11月	大阪	溶接構造シンポジウム2004
第166回	1月	東京	研究報告5～6件

### 9.3 溶接法研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 見学 地方開催時及び隨時
- (3) 会期 1回の会期は原則として1日又は2日とする。
- (4) 開催期、開催地及び内容

会合名	開催期	開催地	内 容
第186回	5月	東京	基調講演、研究報告5～6件
第187回	7月	大阪	基調講演、研究報告10～12件
第188回	11月	地方	" " , 見学会
第189回	2月	東京	" "

JIW 第12委員会と協力して国際的研究活動を行なう。  
溶接法セミナー「溶接プロセスの高効率化－溶接プロセスの高能率化に向けた動向と展望－」を開催する。

溶接法ガイドブック5（英文版）の編集・発刊

### 9.4 溶接冶金研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 見学 地方開催時及び隨時
- (3) 会期 1回の会期は原則として1日又は2日とする。
- (4) 開催期、開催地及び内容

会合名	開催期	開催地	内 容
第176回	5月	東京	研究報告5～6件
第177回	7月	兵庫	FGIセミナーとして、溶接構造研究委員会と合同開催
第178回	11月	つくば	研究報告5～6件、見学会
第179回	2月	東京	研究報告10～12件

JIW 第2及び第9委員会と協力して国際的研究活動を行なう。

### 9.5 溶接疲労強度研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 見学 地方開催時及び隨時
- (3) 会期 1回の会期は原則として1日とする。
- (4) 開催期、開催地及び内容

会合名	開催期	開催地	内 容
第201回	4月	東京	研究報告5～6件
第202回	6月	東京	" "
第203回	11月	地方	" "
第204回	2月	東京	" , 見学会

JIW 第13委員会などと協力して国際的研究活動を行う。

### 9.6 高エネルギービーム加工研究委員会

- (1) 開催回数 年3回
- (2) 会期 1回の会期は原則として1日とする。
- (3) 開催期、開催地及び内容

会合名	開催期	開催地	内 容
第46回	5月	東京	研究報告5～6件
第47回	10月	大阪	研究報告5～6件
第48回	2月	東京	研究報告5～6件

JIW 第4委員会などと協力して国際的研究活動を行う。

### 9.7 軽構造接合加工研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 会期 1回の会期は1日とする。
- (3) 開催期、開催地及び内容

会合名	開催期	開催地	内 容
第65回	6月	東京	講演・研究報告4～5件
第66回	9月	大阪	" "
第67回	11月	地方	" "
第68回	1月	東京	" , 見学会

JIW 第3委員会などと協力して国際的研究活動を行う。

他の研究委員会、他学協会と協力して活動する。

WG活動を行う。

### 9.8 溶接アーク物理研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 会期 1回の会期は1日又は2日とする。
- (3) 開催期、開催地及び内容

会合名	開催期	開催地	内 容
第154回	5月	東京	年度を通じ溶接現象に関する事実と法則の探求と溶接機構の解明について研究討論を行う。
第155回	7月	大阪	
第156回	11月	東京	
第157回	1月	東京	

JIW 第212委員会と協力して国際的研究活動を行う。

### 9.9 マイクロ接合研究委員会

- (1) 開催回数 年3回
- (2) 会期 1回の会期は原則として1日とする。
- (3) 開催期、開催地及び内容

会合名	開催期	開催地	内 容
第74回	5月	東京	講演、研究発表4～7件
第75回	9月	東京	" "
第76回	12月	東京	" "

- (4) ソルダリング分科会を開催する。

会合名	開催期	開催地	内 容
第37回	7月	東京	単独開催、テーマ設定方式
第38回	10月	東京	" "

- (5) Mate 2005シンポジウムを開催する。

(6) 研究会活動を行う.

#### 9.10 界面接合研究委員会

(1) 開催回数 年3回

(2) 会期 1回の会期は1日とする.

(3) 開催期、開催地及び内容

会合名	開催期	開催地	内 容
第66回	5月	東京	特別講演1件、研究発表4~5件
第67回	10月	東京	" "
第68回	1月	東京	" "

JIW 第1委員会などと協力して国際的研究活動を行う.

### 10. 国内活動

10.1 日本学術会議接合工学専門委員会、同金属工学研究連絡委員会、同材料工学研究連絡委員会、造船学研究連絡委員会、構造工学研究連絡委員会、生産学術連合会、電子技術産業協会、日本技術者教育認定機構、日本工学会、日本溶接協会、

日本非破壊検査協会、その他関係学協会との協力態勢を積極的に樹立し本会の目的達成を図る.

10.2 各政府機関に対して行政協力を積極的に行う.

10.3 支部活動を活発に行う.

### 11. 国際活動

11.1 JIW の活動を支援し、IIW の活動を通じて溶接に関する国際活動を行う。IIW 2004年次大会（大阪）開催に協力する。

11.2 各国学協会と各種情報、機関誌等を交換して積極的に交流を図る。

11.3 会員による海外視察の立案、国外からの来訪者による特別講演の実施、訪日外国人の国内視察斡旋などにより研究及び経験の交流を図る。

11.4 米国溶接協会（AWS）、大韓熔接学会（KWS）、及びベトナム溶接学会（VWS）の各協力協定に基づき交流活動を推進する。

## 平成16年度支部事業計画

### 1. 北海道支部

#### 1. 平成16年度支部商議員会並びに支部総会

日 時：平成16年3月22日(月) 13:00~14:00

場 所：北海道大学工学部本館 A101室

#### 2. 幹事会

3回開催予定

#### 3. 各賞授賞者審査委員会及び選考委員会

(1) 溶接学会溶接技術普及賞審査委員会

(2) 溶接学会溶接技術奨励賞審査委員会

(3) 溶接学会奨学賞・溶接学会北海道支部学生奨学賞選考委員会

#### 4. 溶接技術競技大会北海道支部長賞の授与

日 時：平成16年8月上旬頃

場 所：未定

#### 5. 見学会

日 時：平成16年6月

場 所：未定

#### 6. 溶接技術講習会

日 時：平成16年11月

場 所：未定

#### 7. 研究会

(1) セミナー

日 時：未定

場 所：帯広市内

(2) 映画会（巡回ビデオ上映会）

開催時期：平成17年1月～平成17年2月

場 所：道内関連大学、高専、企業

※詳細については幹事会で決定する。

### 2. 東北支部

#### 1. 第16回溶接・接合研究会

日 時：平成16年7月中旬（予定）

場 所：八戸市（予定）

研究発表5~10件、特別講演1件

参加者：40~50名

#### 2. 刊行：なし

#### 3. 会務報告

##### 3.1 第41回商議員会

日 時：平成16年5月15日（土）11:00~12:00

場 所：東北地区溶接技術検定委員会会議室（仙台市泉区）

##### 3.2 表彰

日 時：平成16年5月15日（土）12:00~12:30

場 所：東北地区溶接技術検定委員会会議室（仙台市泉区）

平成15年度溶接技術奨励賞：1名

平成15年度溶接技術普及賞：2名

平成15年度本部奨学賞（報告）：1名

平成15年度東北支部奨学賞（報告）：6名

##### 3.3 総会：商議員会議事録抜粋を支部会員に郵送（平成16年中旬）

### 3. 東部支部

#### 1. 第31回 実用溶接講座

主題等現在検討中。

#### 2. 地区講演会・講習会

(1) 東京地区：12月頃実施予定

(2) 神奈川地区：5月実施予定

(3) 千葉地区

主 題：ステンレス及び非鉄金属の溶接について

共 催：(社) 溶接学会 東部支部 千葉地区委員会

開催日：平成16年3月17日（火）

開催場所：千葉県産業支援技術研究所

講 師：永徳氏、篠沢氏他

(4) 茨城地区：実施予定（詳細は未定）

(5) 埼玉地区：4月に講習会「アーク溶接の基礎から応用

<p>まで」を実施予定</p> <p>(6) 栃木地区：実施予定（詳細は未定）</p> <p>(7) 群馬地区：実施予定（詳細は未定）</p> <p>(8) 新潟地区：</p> <p>主 題：「溶接不良の原因とその対策」</p> <p>共 催：新潟県中央地場産業振興センター</p> <p>開催日時：平成16年10月頃</p> <p>開催場所：新潟県中央地場産業振興センター</p> <p>講 師：未定</p> <p>(9) 山梨地区：</p> <p>主 題；摩擦攪拌接合（FSW）の適用技術について</p> <p>共 催；山梨県工業技術センター</p> <p>開催日時；平成16年10月頃（詳細な日時は未定）</p> <p>開催場所；山梨県工業技術センター</p> <p>講 師；未定</p> <p>(10) 長野地区：実施予定（詳細は未定）</p> <p>3. 平成16年度・通常総会</p> <p>開催日時：平成16年 5月21日（金）15:00～16:00</p> <p>開催場所：（財）日本溶接技術センター</p> <p>議題：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成15年度事業報告および会務報告承認の件</li> <li>(2) 平成15年度収支決算報告承認の件</li> <li>(3) 平成16年度事業計画（案）承認の件</li> <li>(4) 平成16年度収支予算（案）承認の件</li> <li>(5) 役員改選に伴う新役員承認の件</li> </ul> <p>4. 特別講演</p> <p>開催日時：平成16年 5月21日（金），16:00～17:00</p> <p>開催場所：（財）日本溶接技術センター</p> <p>講演題目：『一溶接技術者から見た日本の大型構造物の歴史』</p> <p>講 師：中西 保正 氏</p> <p>（石川島播磨重工業（株）技術開発本部生産技術開発センター副所長）</p> <p>5. 表彰式</p> <p>日 時：平成16年 5月21日（金）</p> <p>平成16年度通常総会議事終了後に開催。</p> <p>場 所：（財）日本溶接技術センター</p> <p>6. 常任幹事会・地区委員長会議</p> <p>適宜開催する。</p> <p><b>4. 東海支部</b></p> <p>1. 総会及び特別講演</p> <p>日 時：平成15年 5月18日（火）13:00～17:00</p> <p>場 所：名古屋大学 VBL</p> <p>議 事：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 平成15年度事業報告及び決算報告</li> <li>2) 平成16・17年度支部役員の確認</li> <li>3) 平成16年度事業計画（案）の審議</li> <li>4) 平成16年度予算案の審議</li> <li>5) 支部三賞授賞式：</li> </ul> <p>溶接技術奨励賞受賞者：</p> <p>特別講演：未定 講師</p> <p>2. 溶接研究会</p> <p>第54回 平成16年 8月</p> <p>場 所：名古屋大学 ベンチャービジネスラボ、ベンチャー</p>	<p>ホール</p> <p>テーマ：未定</p> <p>第55回 平成16年11月</p> <p>場 所：名古屋市工業研究所 視聴覚室</p> <p>テーマ：未定</p> <p>第56回 平成17年 2月</p> <p>場 所：名古屋大学 ベンチャービジネスラボ、ベンチャー</p> <p>ホール</p> <p>テーマ：未定</p> <p>3. 第12回技術講習会</p> <p>テーマ案：「アーク溶接現象の理解とプロセスの進歩」</p> <p>開催日：平成16年 6月28日（月）</p> <p>場 所：名古屋市工業研究所 第2会議室</p> <p>担 当：松井副支部長，漆崎幹事，永井商議員</p> <p>協 賛：溶接学会アーク物理委員会</p> <p>4. 支部商議員会および支部総会</p> <p>総 会 平成16年 5月18日（火）於：名古屋大学</p> <p>商議員会 平成16年 4月16日（金）於：名古屋大学 工学部</p> <p>商議員会 平成16年 5月18日（火）於：名古屋大学</p> <p>5. JICA国際溶接技術者研修コースへの協力</p> <p>4月19日から10月 1日</p> <p>（10ヶ国から11名の研修生）</p> <p>6. その他：(1) 支部3賞および溶接学会奨学賞の候補者推薦</p> <p>溶接技術奨励賞， 溶接技術奨励賞， 溶接技術普及賞， 奨学賞</p> <p><b>5. 北陸支部</b></p> <p>1. 事業</p> <p>特別講演会</p> <p>会 期：平成16年 7月及び11月予定</p> <p>場 所：未定</p> <p>研究発表会</p> <p>会 期：平成16年11月予定</p> <p>場 所：未定</p> <p>2. 会務報告</p> <p>2.1 平成16年度通常総会</p> <p>会 期：平成16年 7月予定</p> <p>場 所：未定</p> <p>2.2 幹事会・商議員会</p> <p>会 期：平成16年 7月及び11月予定</p> <p>場 所：未定</p> <p><b>6. 関西支部</b></p> <p>1. 事業計画</p> <p>1.1 シンポジウム開催</p> <p>会期：平成17年 3月中旬</p> <p>2. 会務計画</p> <p>2.1 平成16年度 商議員，幹事合同委員会</p> <p>会期：平成16年 5月</p> <p><b>7. 中国支部</b></p> <p>1. 事業計画</p> <p>(1) 第8回研究会・見学会</p> <p>本年度は全国大会を実施するため、順延する。</p>
---	--

<p>(2) 平成16年度溶接技術講習会 講習会：「ものつくりを支える最新の接合技術」 開催日：平成16年 6月23日（水）&lt;予定&gt;</p> <p>(3) 平成16年度秋季全国大会 開催日：平成16年 9月16日（木）～18日（土） 場所：広島大学</p> <p>2. 会務計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 全国大会実行委員会 4～8月に約4回。</li> <li>(2) 第1回支部幹事会 5月（「溶接・接合工学」学修会ほか）</li> <li>(3) 第2回支部幹事会、支部表彰「授賞審査委員会」 12月（16年度事業・会務結果・17年度事業・会務計画 および支部表彰者推薦）</li> <li>(4) 支部商議員会・幹事会合同会議および平成16年度支部 総会 3月（平成16年度事業・会務報告および平成17年度事 業・会務計画ほか）</li> </ul> <p><b>8. 四国支部</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成16年度(社)溶接学会四国支部総会 平成16年 7月 9日（金） 愛媛 担当：勝村支部長、副支部長（全員）、水口常任幹事 場所：愛媛県工業技術センター</li> <li>2. 第13回溶接技術基礎講座 愛媛 平成16年 7月 9日（金） 愛媛 担当：平原常任幹事、宇都本幹事、山内幹事 主題：未定 場所：愛媛県工業技術センター</li> <li>4. 第19回溶接技術実用講座 平成16年11月26日 德島 担当：上田副支部長、大田幹事、松原幹事 主題：未定 場所：徳島県立工業技術センター 見学会：未定</li> <li>5. 第10回材料関連学協会支部・研究会連合講演会 平成17年 3月 11日 高知 担当：勝村支部長、内田副支部長、水口常任幹事 場所：高知県工業技術センター</li> <li>6. 第20回溶接技術実用講座 平成17年 8月 5日 香川 担当：吹田副支部長、高田常任幹事、後藤幹事 主題：未定 場所：香川県産業技術センター 見学会：未定</li> <li>7. 第14回溶接技術基礎講座 平成17年11月25日 高知 担当：内田副支部長、南常任幹事、第十幹事 主題：未定 場所：高知県工業技術センター</li> <li>8. 第11回材料関連学協会支部・研究会連合講演会 平成18年 3月 10日 德島 担当：勝村支部長、上田副支部長、水口常任幹事 場所：徳島大学工学部</li> </ol>	<p><b>9. 九州支部</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>1.1 講習会、セミナーなど 「溶接設計講座」 会期：平成16年10月以降（回数未定） 会場：未定 受講者：80名（予定）</li> <li>1.2 刊行 「平成16年度 溶接設計講座テキスト」 「平成16年度溶接学会九州支部講演論文集 第1号」</li> </ul> </li> <li>2. 会務計画 <ul style="list-style-type: none"> <li>2.1 平成16年度通常総会 日時：平成16年 7月 16日 会場：九州大学</li> <li>2.2 平成16年度商議員会 日時：平成16年 7月 16日 会場：九州大学</li> <li>2.3 平成16年度研究発表会 日時：平成16年 7月 16日 会場：九州大学</li> <li>2.4 平成16年度特別講演会 日時：平成16年 7月 16日 会場：九州大学 講師：Wolfgang Fricke（ハンブルク工科大学教授） 演題：Analysis and effects of residual stresses in welded ship structures</li> </ul> </li> </ol>
---	--